

開票ってどうやってするの？～衆院選の現場から～

前回の新聞発行から約1か月半、その間、10月31日に衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が行われました。テレビや新聞等で投票・開票の様子を見た人も多いのではと思います。今回は、その中でも注目度が高い「開票作業」がどのように行われているのか、先日の選挙での開票の様子を交えながら紹介します。



①開披（投票用紙を出す）

投票箱を開けて中身を台の上に出します。最初は機械で仕分けるため、投票用紙の向き（天地・裏表）を揃えます。



②読取分類機による仕分け

投票用紙が揃ったら機械で仕分けます。大半は綺麗に仕分けられますが、文字の判読ができないものなどは人の手で仕分けます。



③点検

機械で仕分けられた投票用紙について、仕分けに誤りがないか、人の手で点検します。



④手作業での仕分け・判定

機械で仕分けできなかったものは、人の手で仕分けます。また、疑問票の判定については、有権者の意思を読み解く大事な作業です。

⑤100票ごとの束にする

機械と人の手で100票ごとに束にして候補者ごとにケースに入れます。



⑥確定

開票が公正に行われているかチェックする開票立会人の意見を聞きながら、1票1票慎重に確定します。

開票と一言で言ってもなかなか「奥深い」です。

衆院選の投票結果

10月31日に行われた、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の投票結果（小選挙区）についてお知らせします。

新居浜市投票率 **55.78%**（前回比+3.97%）

愛媛県投票率 **54.98%**（前回比+4.24%）

全国投票率 **55.93%**（前回比+2.25%）

新居浜市での18歳の人の投票率

44.45%（前回比+3.29%）

前回選挙（平成29年）に比べて、新居浜市の投票率は上昇し、県全体の投票率も上回りましたが、全国平均にはあと一歩及ばずという結果になりました。来年度も参議院議員通常選挙などが行われる予定です。貴重な1票を無駄にしないよう、18歳になったら是非投票所に！！